

「2019年9月期(第2回) 旅行市場動向調査」

一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA) では、JATA会員各社および中連協会員各社へ調査モニターへの登録を依頼し、登録のあった650社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施しております。今回、9月期の調査がまとまりましたのでお知らせします。

《海外旅行DI》

DI値は3カ月前(4~6月)から-13ポイント低いマイナス15。3カ月後(10~12月)は+4ポイント上昇しマイナス11。6カ月後(1~3月)は現況より-2ポイント低いマイナス17。

◆現況はGWの反動と日韓関係の悪化で韓国への渡航を控える流れにより、大幅にDI値が低下し、1年半ぶりの低水準となった。国際情勢の先行き不安や消費増税を控え、3カ月後、6カ月後の見通しでも改善はせず、ほぼ横ばいの見込み。

《国内旅行DI》

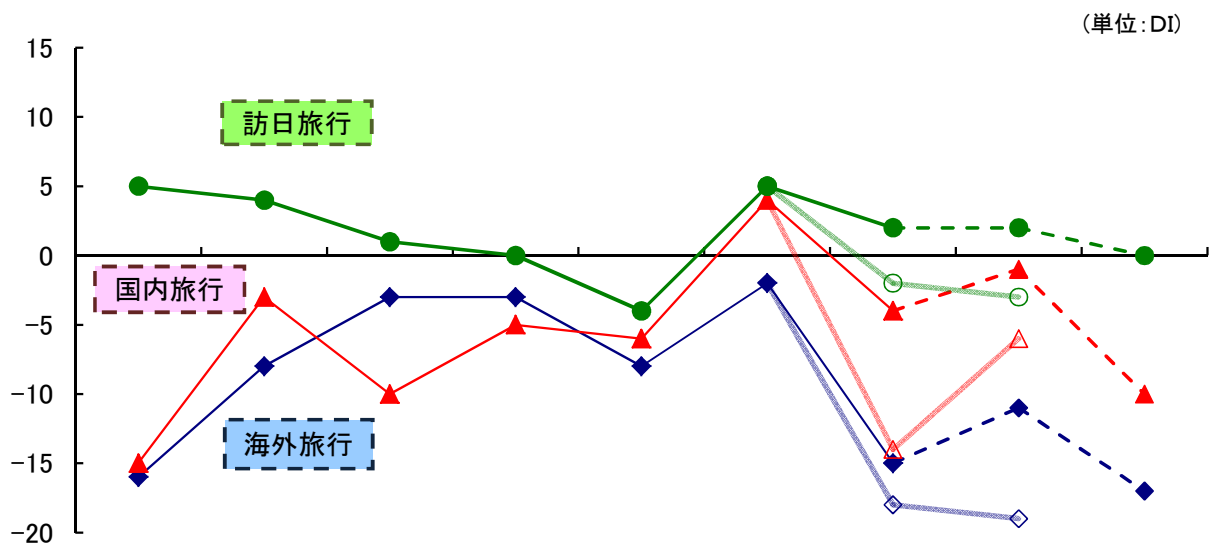
DI値は3カ月前(4~6月)から-8ポイント低いマイナス4。3カ月後(10~12月)は+3ポイント上昇しマイナス1。6カ月後(1~3月)は現況よりも-6ポイント低いマイナス10。

◆現況はGWの10連休による影響で低下したものの、3カ月前(4~6月)の見込みを上回った。団体旅行が横ばいの推移を見せるものの、方面別では低下が目立つ結果となった。

《訪日旅行DI》

DI値は3カ月前(4~6月)から-3ポイント低いプラス2。3カ月後(10~12月)は現状の水準を維持しプラス2。6カ月後(1~3月)は現況よりも-2ポイント低い0。

◆現況は低下傾向にあるが、3カ月前(4~6月)の見込みよりは高い水準となり、プラス圏。国際情勢の影響を受けてか、韓国からの訪日旅行者が減っている点が目立つ。



	1年半前 (1~3月)	1年 3カ月前 (4~6月)	1年前 (7~9月)	9カ月前 (10~12月)	6カ月前 (1~3月)	3カ月前 (4~6月)	現況 (7~9月)	3カ月後 (10~12月)	6カ月後 (1~3月)
海外旅行全般	-16	-8	-3	-3	-8	-2	-15 ※-18	-11 ※-19	-17
国内旅行全般	-15	-3	-10	-5	-6	4	-4 ※-14	-1 ※-6	-10
訪日旅行全般	5	4	1	0	-4	5	2 ※-2	2 ※-3	0

※2019年6月期調査見通し数値

■旅行市場動向調査について

一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）では、JATA会員および中連協会員各社へ調査モニターへの登録を依頼し、会員1412社中、登録のあった650社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施し、その結果を発表しております。

「旅行市場動向調査」は、現況・先行き（3ヵ月後・6ヵ月後）についてのアンケートを実施し、旅行市場の動向を把握することを目的としております。

調査では各質問事項に対し「良い」「普通」「悪い」「取り扱っていない」で評価を求め、回答数から「取り扱っていない」（無回答を含む）の回答を除いたものを母数として各回答のシェアを算出し、「良い」を選んだ割合（%）から「悪い」を選んだ割合（%）を引いて、「D I」（=Diffusion Index ディフュージョン・インデックス）という景気動向指数に加工して発表しています。D I 値の範囲は、全て良い（100）から、全て悪い（-100）の間の評価となります。

◆調査概要

調査地域	： 全国
調査対象	： J A T A 会員各社、中連協会員各社の経営者など
調査方法	： インターネット調査
調査期間	： 2019年8月1日（木）～8月23日（金）
設定数	： 650社
回収数	： 301社
回収率	： 46.3%

◆種別について

「旅行市場動向調査」では、各業況を種別に分析しています。
各種別の取り扱い業務範囲と今回調査での回答件数は下記の表の通りとなっています。

種別	取り扱い業務範囲	社数	比率
第一種旅行業	海外・国内の募集型・受注型企画旅行の企画・実施、海外旅行・国内旅行の手配、及び他社実施の募集型企画旅行の代売を行うことができる。	192社	63.8%
第二種旅行業	国内の募集型企画旅行の企画・実施、海外・国内の受注型企画旅行の企画・実施、海外旅行・国内旅行の手配、及び他社の募集型企画旅行の代売を行うことができる。	49社	16.3%
第三種旅行業	海外・国内の受注型企画旅行の企画・実施、海外旅行・国内旅行の手配、及び他社の募集型企画旅行の代売を行うことができる。また、実施する区域を限定し、旅行代金の支払い時期を制限したうえで国内の募集型企画旅行を行うことができる。	60社	19.9%

この資料についてのお問い合わせは、JATA広報室までお願いします。
なお、本データはJATAホームページ <http://www.jata-net.or.jp> でご覧になれます。
TEL : (03)3592-1244

■海外旅行全般／客数の業況について

GWの反動や日韓関係の悪化などにより、現況(7~9月)の業況・客数ともに低下した。「第1種」が3カ月前のプラス圏から悪化し、すべての種別でマイナス圏となった。

総合

海外旅行全般の業況は、3カ月前(4~6月)に比べて-13ポイント低下しマイナス15。3カ月後(10~12月)の見通しもマイナス11と低迷する見込み。
客数についても3カ月前(4~6月)のプラス圏から悪化してマイナス11となった。3カ月後(10~12月)もマイナス15と低迷する見込み。
種別の業況では「第1種」(-21ポイント)は悪化、「第2種」(+2ポイント)と「第3種」(+15ポイント)は上昇した。

現況(7~9月) は方面では「韓国」が不調。GWで好調だった3カ月前からの反動あり。

海外旅行全般は3カ月前(4~6月)より-13ポイント低下しマイナス15。

客数も-25ポイント低下し、マイナス11。

- ・GW好調だった反動なのか、夏休みが盛り上がり終った。その流れが続いてか、秋もまだ予約が増えている。(第1種)
- ・ヨーロッパを中心に、ビジネスクラス利用のファミリーが堅調に伸びている。(第1種)
- ・8月までは韓国・香港共にキャンセルはなかったが、8月以降の新予約が外的要因で非常に悪い。(第1種)
- ・パッケージツアー、団体旅行の減少が加速し、エアオンなどパーツのみの手配が増えてきている。(第1種)

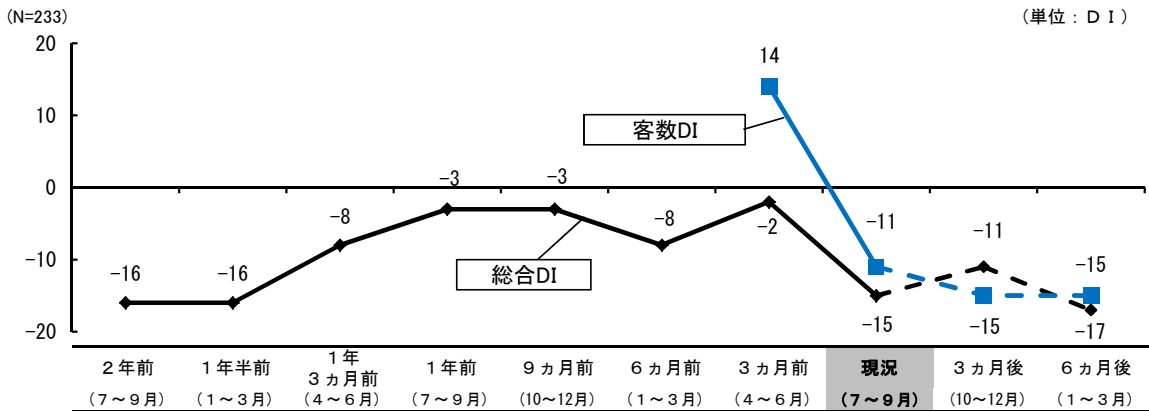
3カ月後(10~12月)は国際情勢の不安や、消費税増税による消費低下の懸念から、引き続き低調に推移する見込み。

海外旅行全般の3カ月後(10~12月)は+4ポイント上昇しマイナス11。6カ月後(1~3月)は-6ポイント低下しマイナス17。

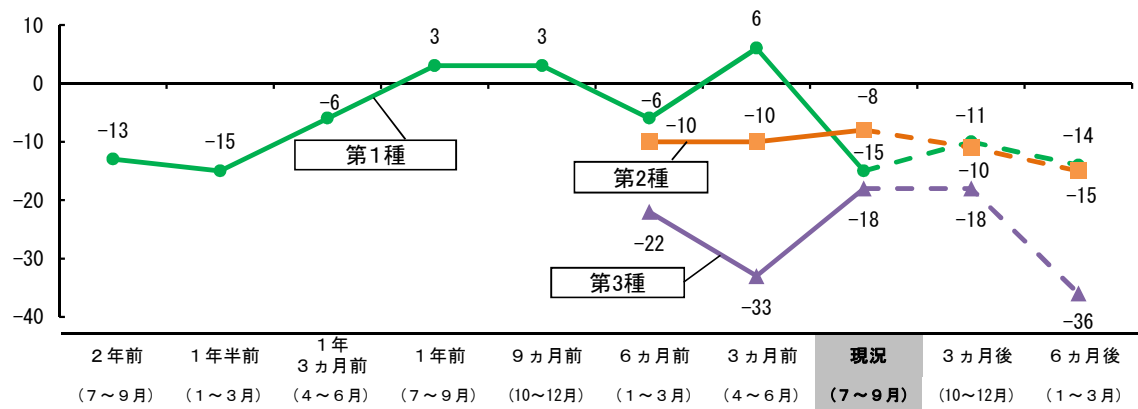
客数の3カ月後(10~12月)は-4ポイント低下しマイナス15。6カ月後(1~3月)も変わらずマイナス15。

- ・10~12月は年末年始9連休でヨーロッパが好調なため、全体の数値を引っ張っている。(第1種)
- ・ハワイはファミリー、グループ共にビジネスクラス利用で年末年始まで堅調に推移している。(第1種)
- ・日韓線の飛行機が減便になる計画であり、韓国への旅行者は今後も減ると予想される。(第1種)
- ・個人旅行はインターネット予約が主流になっていて旅行会社への依頼はこれからも減り続ける。(第1種)

海外DI値【総合+客数】



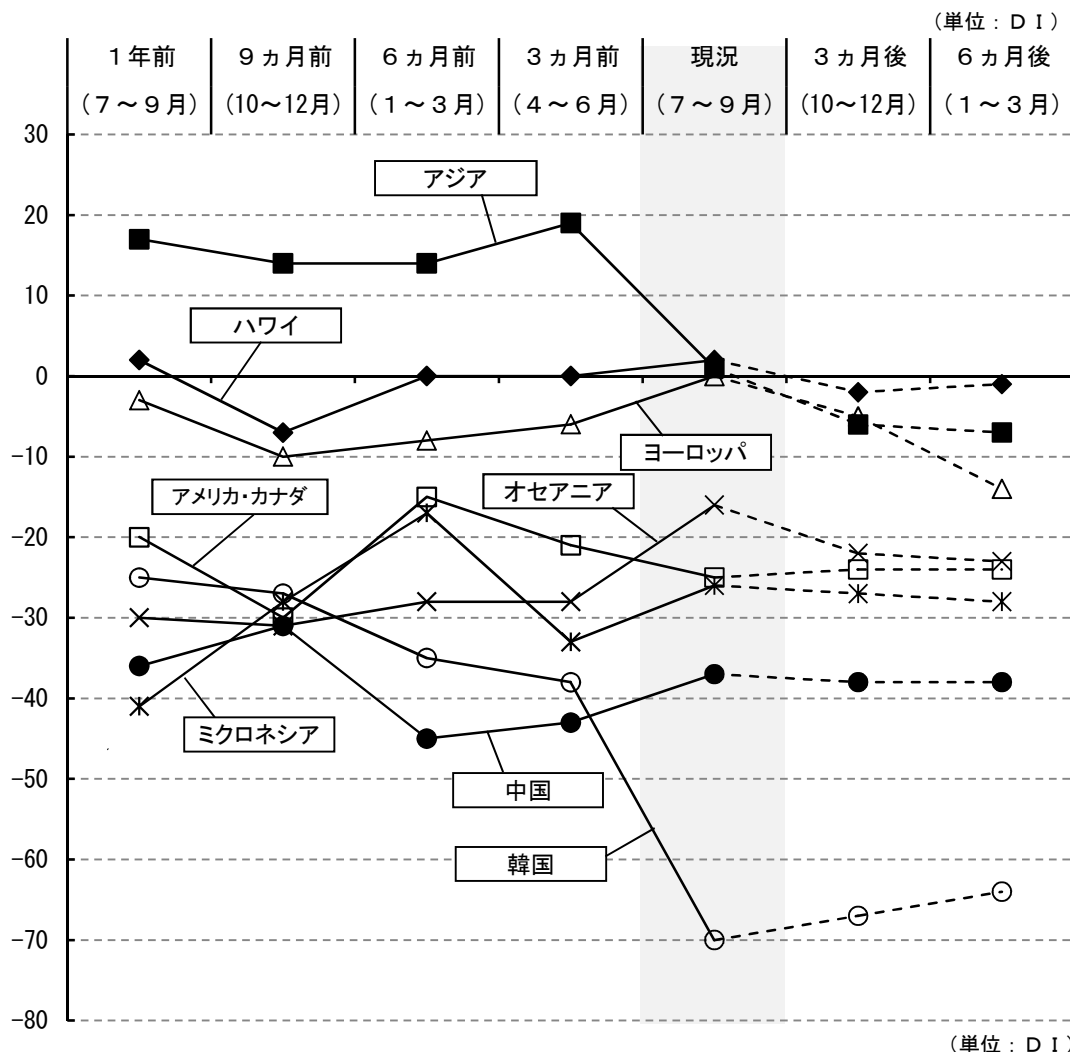
種別総合DI値



◆海外旅行の需要動向（方面別）

- ・ 現況（7～9月）は「アジア」がプラス圏を維持したが3カ月前（4～6月）に比べて-18ポイント、「韓国」は-32ポイントの大きな低下となった。方面別トップはハワイ（プラス2）。
- また、「ヨーロッパ」は3期連続の上昇となった。
- ・ 3カ月後（10～12月）は、ほとんどの方面で横ばいまたは低下傾向。「アジア」は2016年9月期以来のマイナス圏へと低下する見込みだが、「韓国」は+3ポイントと若干の改善が見込まれている。

N:有効回答数
(N=233)



(単位：D I)

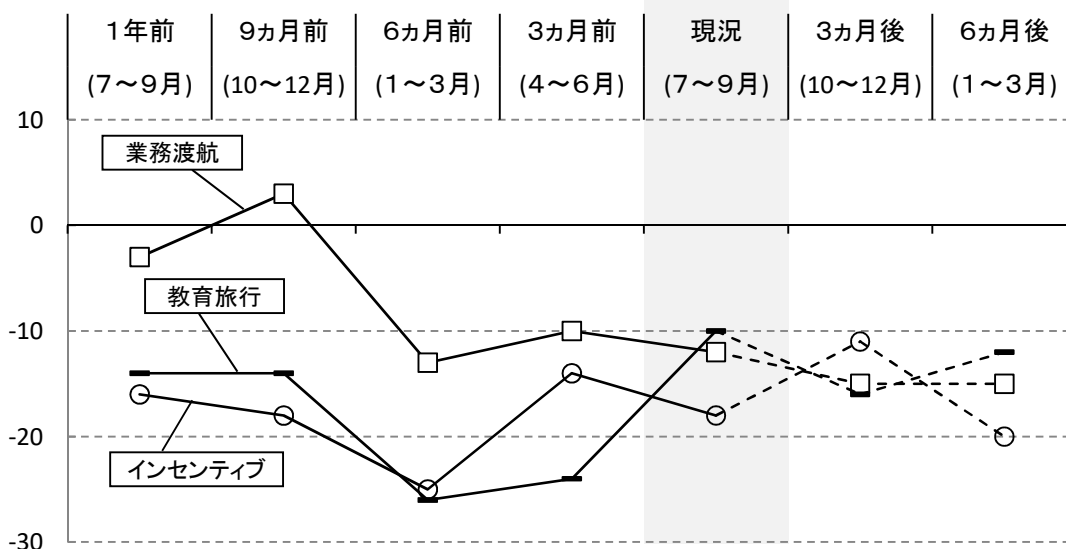
	1年前 (7～9月)	9カ月前 (10～12月)	6カ月前 (1～3月)	3カ月前 (4～6月)	現況 (7～9月)	3カ月後 (10～12月)	6カ月後 (1～3月)
ハワイ	2	-7	0	0	2	-2	-1
アメリカ・カナダ	-20	-30	-15	-21	-25	-24	-24
ヨーロッパ	-3	-10	-8	-6	0	-5	-14
オセアニア	-30	-31	-28	-28	-16	-22	-23
ミクロネシア	-41	-28	-17	-33	-26	-27	-28
アジア	17	14	14	19	1	-6	-7
中国	-36	-31	-45	-43	-37	-38	-38
韓国	-25	-27	-35	-38	-70	-67	-64

◆海外旅行の需要動向（団体旅行）

- ・ 現況は3ヵ月前（4～6月）と比べ、「インセンティブ」「業務渡航」が低下した一方、「教育旅行」は+14ポイント上昇し、マイナス10となった。
- ・ 3ヵ月後（10～12月）は、現況に引き続き「業務渡航」の低下が見込まれる（-3ポイント）。また、「インセンティブ」は+7ポイント上昇、「教育旅行」は-6ポイント低下の見込み。

N:有効回答数
(N=233)

(単位: D I)



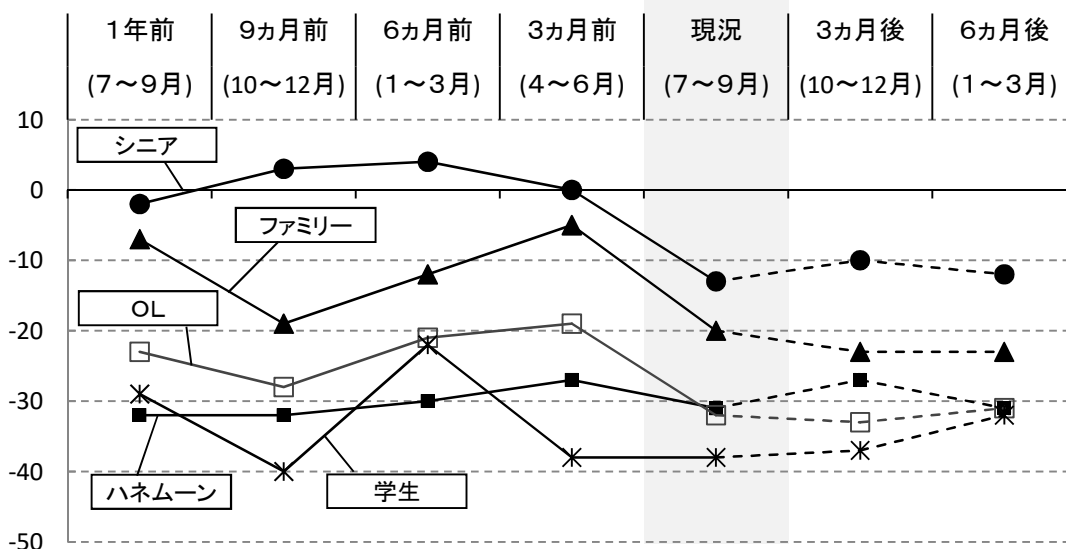
	1年前 (7～9月)	9ヵ月前 (10～12月)	6ヵ月前 (1～3月)	3ヵ月前 (4～6月)	現況 (7～9月)	3ヵ月後 (10～12月)	6ヵ月後 (1～3月)
インセンティブ	-16	-18	-25	-14	-18	-11	-20
業務渡航	-3	3	-13	-10	-12	-15	-15
教育旅行	-14	-14	-26	-24	-10	-16	-12

◆海外旅行の需要動向（個人旅行）

- ・ 現況は3ヵ月前（4～6月）と比べて「学生」は横ばいであった一方、「ファミリー」（-15ポイント）、「OL」（-13ポイント）、「シニア」（-13ポイント）は、大きく低下した。「ファミリー」、「OL」、「シニア」では前年同期も下回る。
- ・ 3ヵ月後（10～12月）は、現況（7～9月）に比べて大きな変動は見込まれておらず、前年同期にプラス圏の水準にあった「シニア」もマイナス圏のまま低迷する見込み。

N:有効回答数
(N=233)

(単位: D I)



	1年前 (7～9月)	9ヵ月前 (10～12月)	6ヵ月前 (1～3月)	3ヵ月前 (4～6月)	現況 (7～9月)	3ヵ月後 (10～12月)	6ヵ月後 (1～3月)
ハネムーン	-32	-32	-30	-27	-31	-27	-31
ファミリー	-7	-19	-12	-5	-20	-23	-23
OL	-23	-28	-21	-19	-32	-33	-31
学生	-29	-40	-22	-38	-38	-37	-32
シニア (60歳以上)	-2	3	4	0	-13	-10	-12

国内旅行全般の業況について

GWの10連休による影響で現況は全体的に低下しているが、3ヵ月後は落ち着きを見せ、徐々に回復の見通し。
 方面や目的、客層別等では堅調を維持している結果も見られた。

総合

国内旅行全般の業況は、3ヵ月前（4～6月）から－8ポイント低下したが、3ヵ月後（10～12月）の見通しでは、マイナス圏ではあるものの回復する見込み。

客数についても現況では大きく低下したが、3ヵ月後（10～12月）は回復の見込み。

種別の業況では「第1種」（－10ポイント）、「第2種」（－8ポイント）は低下、対して「第3種」（＋5ポイント）は上昇した。

現況（7～9月）は低下傾向。マイナス圏が目立つ。

国内旅行全般は3ヵ月前（4～6月）より－8ポイント低下し、マイナス4。客数はマイナス8。

- ・今年度はGWが大型連休だったため、夏の観光需要に伸びを欠く。（第1種）
- ・消費税増税の懸念による出控えを感じる。（第1種）
- ・沖縄は離島も含めてリゾート宿泊が増え単価が上がっている。（第1種）
- ・働き方改革の影響か余暇を旅行で過ごすパターンが増加しつつある。（第2種）

3ヵ月後（10～12月）は、GWの影響も落ち着き、回復の見込み。

国内旅行全般の3ヵ月後（10～12月）は＋3ポイント上昇しマイナス1。6ヵ月後（1～3月）は－9ポイント低下しマイナス10。

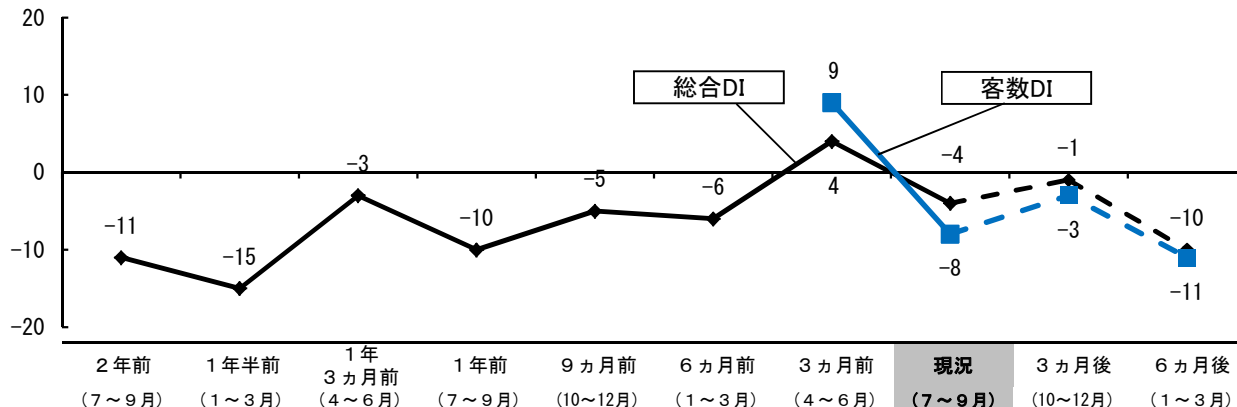
客数の3ヵ月後（10～12月）は＋5ポイント上昇しマイナス3。6ヵ月後（1～3月）は－8ポイント低下しマイナス11。

- ・秋の連休、年末年始と連休が多く、国内旅行に出かける人が増えている。（第1種）
- ・秋の3連休は、北海道・沖縄共に好調に予約が入っているが、他の動きが鈍い。（第1種）
- ・シニア層の旅行市場は堅調に伸びている。（第2種）
- ・個人旅行はインターネットを使って旅行者自身が手配するという状況は今後も加速していく。（第1種）

国内DI値【総合＋客数】

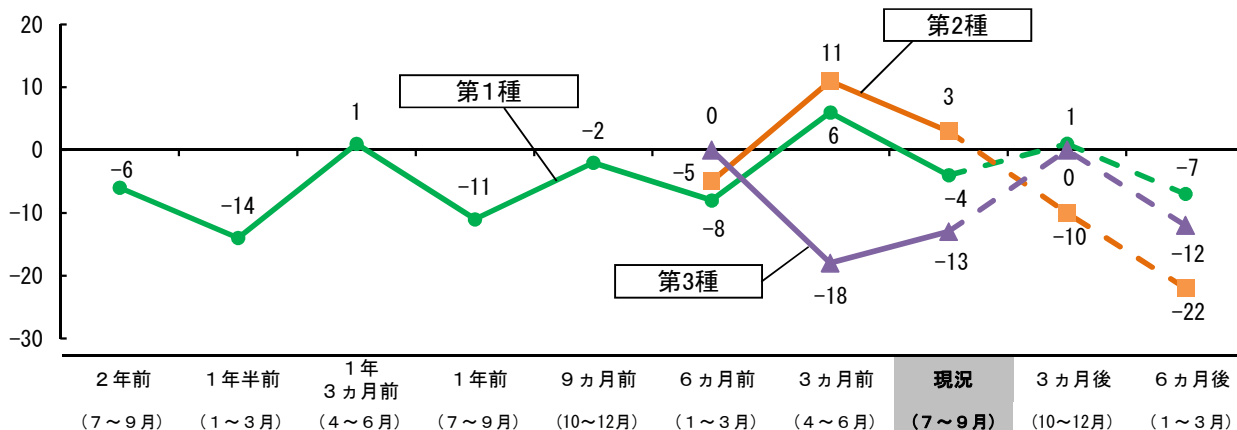
(N=188)

(単位：DI)



※「客数DI」は、2019年6月調査から聴取したため、以前のデータなし

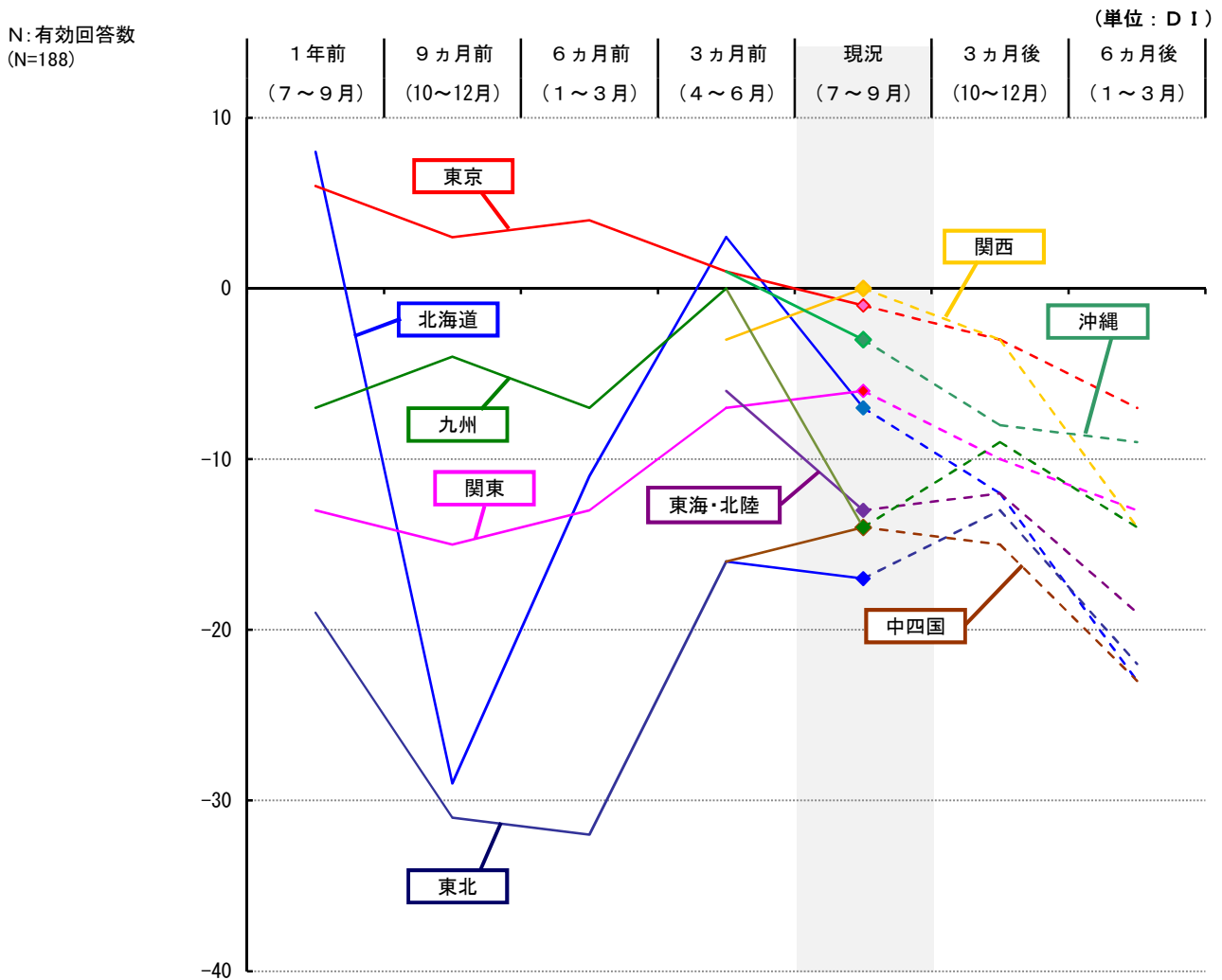
種別総合DI値



※「第2種」「第3種」は、2019年3月調査から分計したため、以前のデータなし

◆国内旅行の需要動向（方面別）

- ・ 現況は3カ月前（4～6月）に比べ、「関西」（+3ポイント）、「中四国」（+2ポイント）がゆるやかな上昇を見せるものの、「北海道」（-10ポイント）、「九州」（-14ポイント）が大きく低下した。
- ・ 3カ月後（10～12月）は「北海道」「沖縄」などで-5ポイント低下の見込み。6カ月後（1～3月）ではすべての地域で低下が見込まれる。



(単位:DI)

	1年前 (7～9月)	9カ月前 (10～12月)	6カ月前 (1～3月)	3カ月前 (4～6月)	現況 (7～9月)	3カ月後 (10～12月)	6カ月後 (1～3月)
北海道	8	-29	-11	3	-7	-12	-23
東北	-19	-31	-32	-16	-17	-13	-22
関東	-13	-15	-13	-7	-6	-10	-13
東京(TDRを含む)	6	3	4	1	-1	-3	-7
東海・北陸	-	-	-	-6	-13	-12	-19
関西	-	-	-	-3	0	-3	-14
中四国	-	-	-	-16	-14	-15	-23
九州	-7	-4	-7	0	-14	-9	-14
沖縄	-	-	-	1	-3	-8	-9

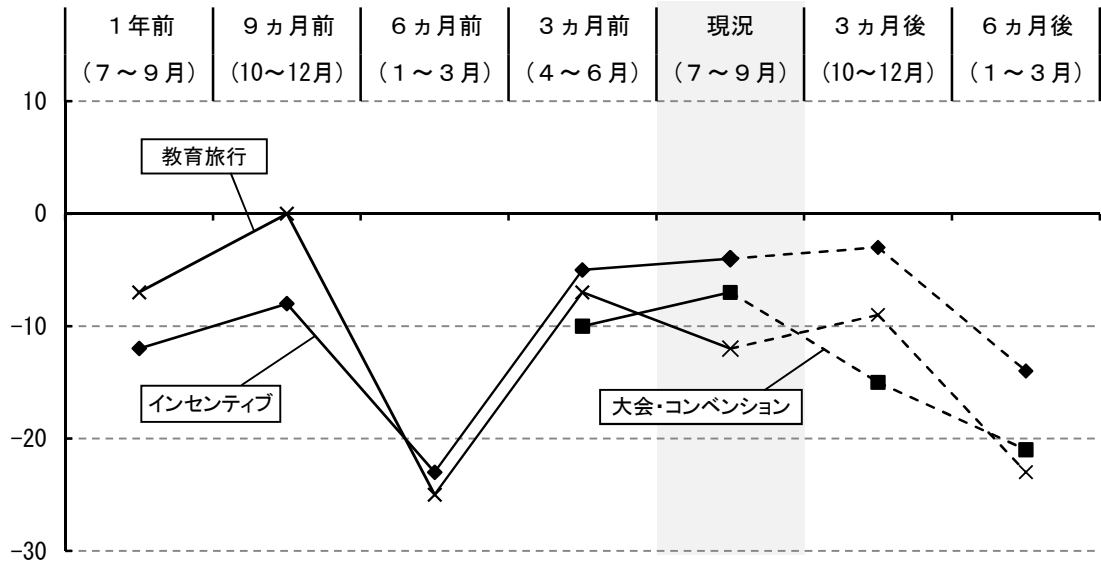
※「東海・北陸」「関西」「中四国」「沖縄」は、2019年6月調査で聴取方法を変更したため、以前のデータなし

◆国内旅行の需要動向（団体旅行）

- ・ 現況は3ヵ月前（4～6月）に比べ、「大会・コンベンション」が+3ポイント、「インセンティブ」が+1ポイント上昇したが、「教育旅行」は-5ポイント低下。
- ・ 3ヵ月後（10～12月）は「教育旅行」で+3ポイントの改善が見込まれるが、6ヵ月後（1～3月）はすべての客層で低下する見通し。

（単位：D I）

N:有効回答数
(N=188)



	1年前 (7～9月)	9ヵ月前 (10～12月)	6ヵ月前 (1～3月)	3ヵ月前 (4～6月)	現況 (7～9月)	3ヵ月後 (10～12月)	6ヵ月後 (1～3月)
インセンティブ	-12	-8	-23	-5	-4	-3	-14
大会・コンベンション	-	-	-	-10	-7	-15	-21
教育旅行	-7	0	-25	-7	-12	-9	-23

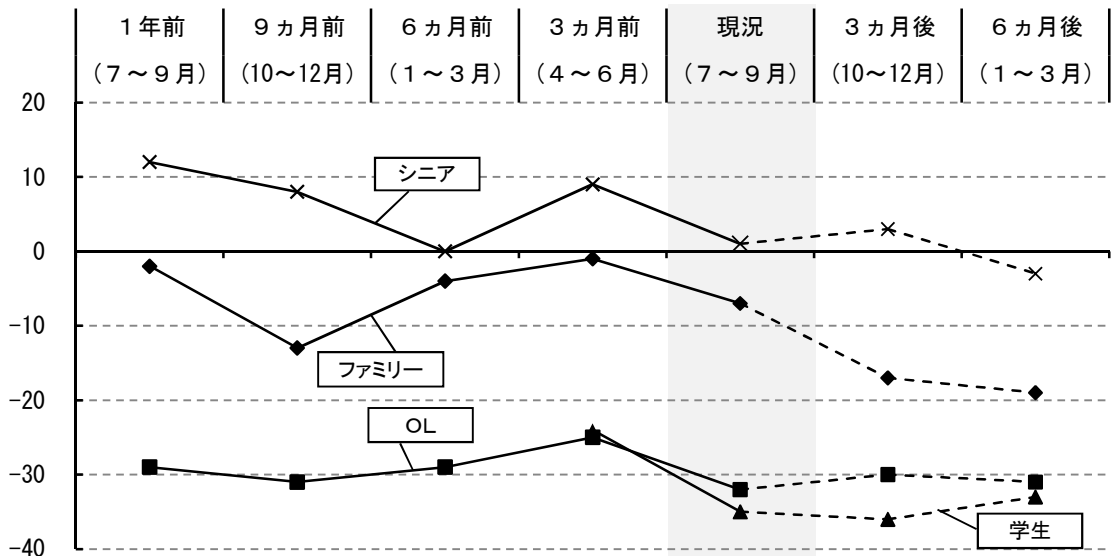
※「大会・コンベンション」は、2019年6月調査から聴取したため、以前のデータなし

◆国内旅行の需要動向（個人旅行）

- ・ 現況は3ヵ月前（4～6月）に比べ、全ての客層で低下した。堅調だった「シニア」は、低下しつつもプラス圏にとどまった。
- ・ 3ヵ月後（10～12月）は、「ファミリー」が-10ポイント低下となるが、「シニア」「OL」「学生」は横ばいで推移する見込み。

（単位：D I）

N:有効回答数
(N=188)



	1年前 (7～9月)	9ヵ月前 (10～12月)	6ヵ月前 (1～3月)	3ヵ月前 (4～6月)	現況 (7～9月)	3ヵ月後 (10～12月)	6ヵ月後 (1～3月)
ファミリー	-2	-13	-4	-1	-7	-17	-19
OL	-29	-31	-29	-25	-32	-30	-31
学生	-	-	-	-24	-35	-36	-33
シニア (60歳以上)	12	8	0	9	1	3	-3

※「学生」は、2019年6月調査から聴取したため、以前のデータなし

■訪日旅行全般の業況について

業況・客数ともに低下傾向にあるが、プラス圏を維持している。
 種別では、「第1種」が好調。一方、「第2種」はマイナス圏へ悪化した。
 また、国・地域別では「韓国」が大きく低下し、見込みも低迷している。

総合

訪日旅行全般の業況は3ヵ月前（4～6月）から－3ポイント低下したが、プラス圏を維持した。
 客数については－1ポイント低下し、業況と少し差が出ている。
 種別の業況では、「第1種」が＋1ポイント上昇し好調。「第2種」が－1.8ポイントと大きく低下、「第3種」は－5ポイント低下し不調。

現況（7～9月）は多くの項目で低下傾向。

訪日旅行全般は3ヵ月前（4～6月）より－3ポイント低下し、プラス2。

客数は－1ポイント低下し、プラス5。

- ・首都圏～関西のゴールデンルートは堅調。（第1種）
- ・ラグビーワールドカップの影響でラグビー競合国からの訪日が増えている。試合の合間にオプションツアーに参加するニーズがある。（第1種）
- ・韓国は現況の情勢により激減、反面中国からの訪日数が増加している。（第3種）
- ・F I Tの増加、手配の部分利用増加がみられる。（第1種）

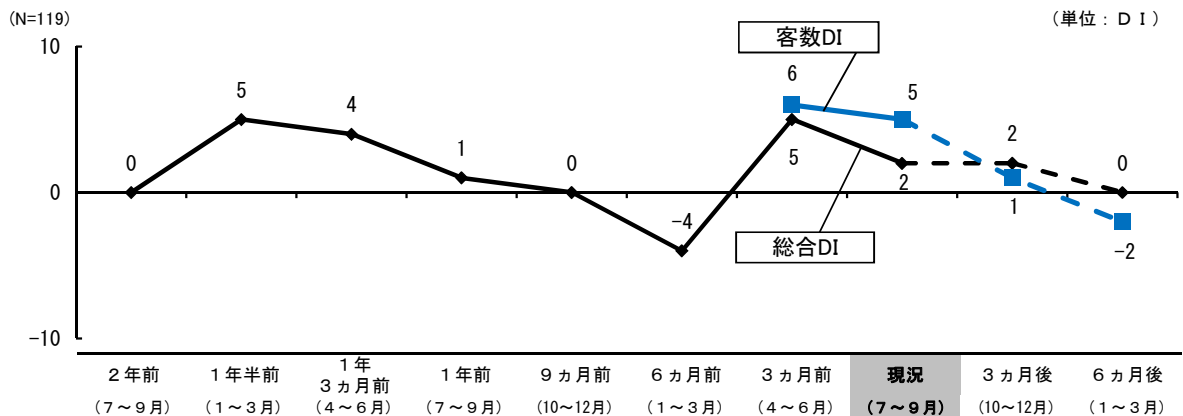
3ヵ月後（10～12月）は現在の水準を保ち、客数については低下する見込み。

訪日旅行全般の3ヵ月後（10～12月）は現在の水準を維持し、プラス2。6ヵ月後（1～3月）は－2ポイント低下し0。

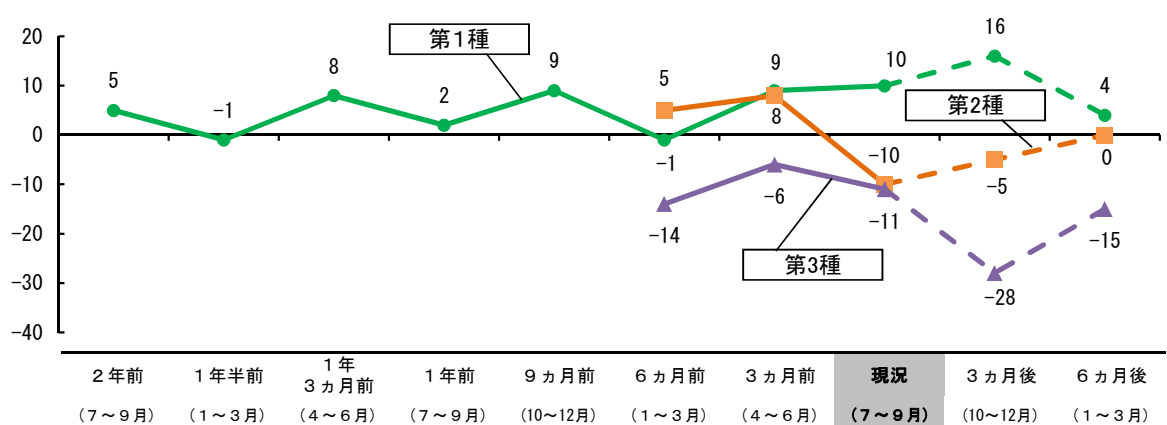
客数の3ヵ月後（10～12月）は－4ポイント低下しプラス1。6ヵ月後（1～3月）は－3ポイント低下しマイナス2。

- ・特に韓国からのお客様が現在の政治動向を反映して、直行便の減などで落ち込むことが予想されており、今後も苦戦する状況が続くと考えている（第1種）
- ・以前のように買い物がメインではなく、多様な施設見学参加や健康診断や治療目的などただの観光ではない要望も増えている（第2種）
- ・お客がホテルや、食事、交通手段の手配はすべてインターネットで予約しますので、旅行会社の役割が少しずつなくなっていく。（第3種）
- ・一般的観光より自由行動を多く求めるようになってきた。（第3種）

訪日DI値【総合+客数】



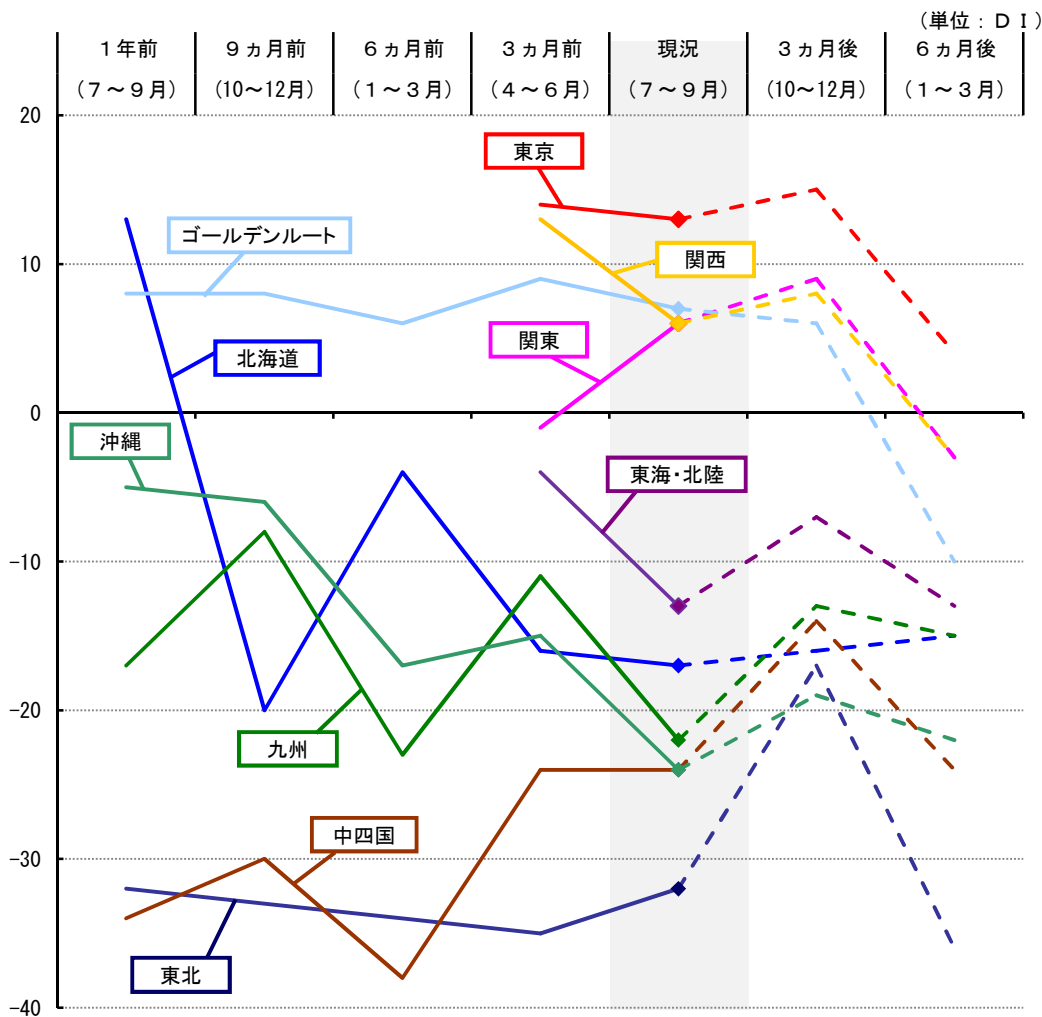
種別総合D I 値



◆訪日旅行の需要動向（方面別）

- 現況は3カ月前（4～6月）に比べて「関東」が+7ポイント上昇した。
「東京」「関西」「ゴールデンルート」は若干低下しているものの、プラス圏を保ち高水準。
一方、「九州」が-11ポイント、「東海・北陸」「沖縄」が-9ポイント低下し、目立つ動きが出ている。
- 3カ月後（10～12月）は「東北」（+15ポイント）、「中四国」（+10ポイント）が大きく上昇、その他の方面も上昇または横ばいの見込み。

N:有効回答数
(N=119)



(単位：D I)

	1年前 (7～9月)	9カ月前 (10～12月)	6カ月前 (1～3月)	3カ月前 (4～6月)	現況 (7～9月)	3カ月後 (10～12月)	6カ月後 (1～3月)
北海道	13	-20	-4	-16	-17	-16	-15
東北	-32	-33	-34	-35	-32	-17	-36
関東	-	-	-	-1	6	9	-3
東京(TDR含む)	-	-	-	14	13	15	4
東海・北陸	-	-	-	-4	-13	-7	-13
関西	-	-	-	13	6	8	-3
中四国	-34	-30	-38	-24	-24	-14	-24
九州	-17	-8	-23	-11	-22	-13	-15
沖縄	-5	-6	-17	-15	-24	-19	-22
ゴールデンルート(関東⇔関西)	8	8	6	9	7	6	-10

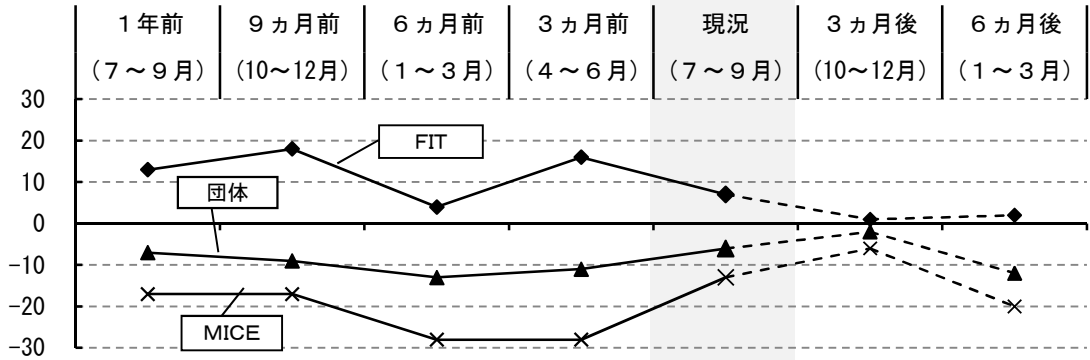
※「関東」「東京(TDR含む)」「東海・北陸」「関西」は、2019年6月調査で聴取方法を変更したため、以前のデータなし

◆訪日旅行の需要動向（顧客層別）

- ・ 現況は3ヵ月前(4～6月)に比べ「MICE」(+15ポイント)が大きく上昇している。「FIT」は-9ポイント低下したが、プラス圏を保ち高水準。
- ・ 3ヵ月後(10～12月)の動きも現況と同じく、「団体」「MICE」が上昇、「FIT」が低下の見込み。

N: 有効回答数
(N=119)

(単位: D I)



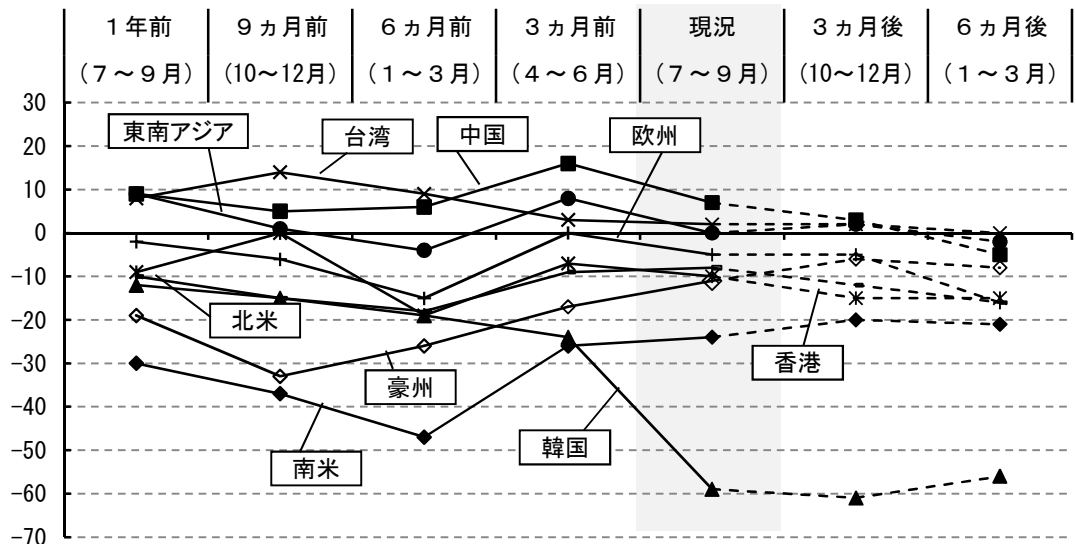
	1年前 (7～9月)	9ヵ月前 (10～12月)	6ヵ月前 (1～3月)	3ヵ月前 (4～6月)	現況 (7～9月)	3ヵ月後 (10～12月)	6ヵ月後 (1～3月)
FIT	13	18	4	16	7	1	2
団体	-7	-9	-13	-11	-6	-2	-12
MICE	-17	-17	-28	-28	-13	-6	-20

◆訪日旅行の需要動向（国・地域別）

- ・ 現況は3ヵ月前(4～6月)に比べ、「韓国」(-35ポイント)が大きく低下。その他の地域も、横ばいか低下傾向が多く見られる。その中で「中国」「台湾」はプラス圏を保っている。
- ・ 3ヵ月後(10～12月)の動きも現況と同じく、横ばいか低下傾向が多いが、「南米」(+4ポイント)「豪州」(+5ポイント)は上昇の見込み。

N: 有効回答数
(N=119)

(単位: D I)



	1年前 (7～9月)	9ヵ月前 (10～12月)	6ヵ月前 (1～3月)	3ヵ月前 (4～6月)	現況 (7～9月)	3ヵ月後 (10～12月)	6ヵ月後 (1～3月)
中国	9	5	6	16	7	3	-5
韓国	-12	-15	-19	-24	-59	-61	-56
台湾	8	14	9	3	2	2	0
香港	-9	0	-19	-7	-10	-15	-15
東南アジア	9	1	-4	8	0	2	-2
欧州	-2	-6	-15	0	-5	-5	-16
北米	-10	-15	-18	-9	-8	-12	-16
南米	-30	-37	-47	-26	-24	-20	-21
豪州	-19	-33	-26	-17	-11	-6	-8